

全国高校総体

☆卓球部

男子学校対抗 1回戦敗退
 男子ダブルス 1回戦敗退
 加藤祐也・土田善悠 1回戦敗退

男子シングルス 土田善悠 2回戦進出

☆柔道部

男子個人戦 菅原将也 2回戦進出
 73kg級 菅原将也 2回戦進出
 81kg級 三戸雄生 2回戦進出

☆ボート部

男子シングルスカル 鎌田祐磨 敗者復活戦6位
 男子ダブルスカル 後藤拓・伊藤拓 準々決勝5位

☆剣道部

男子個人戦 佐藤広将 2回戦進出
 男子学校対抗 1回戦敗退

☆バドミントン部

男子学校対抗 1回戦敗退

全国大会出場	
動 部	
バドミントン部 ■ (男子団体)	渡部 孝太 甲谷 望・高橋 廉・小玉 祐矢 小玉 直亮 伊藤 裕一郎・水ノ江 慎兵 甲谷 望 高橋 廉
ボート部 ■ (男子ダブルス)	後藤 拓 伊藤 拓・松野 直人
柔 道 部 ■ (男子シングルスカル)	菅原 将也 菅原 将也 73kg級 菅原 将也 菅原 将也 81kg級 三戸 雄生 三戸 雄生
剣 道 部 ■ (男子個人)	佐藤 広将 佐藤 広将
少将特報部 ■ (男子単独演武)	熊谷 美有紀 (女子単独演武)
化 部	
放送委員会 ■ (朗読部門)	久米 真梨子・松尾 留花
■ (アナウンス部門)	長谷川 早紀
■ (ラジオコメント部門)	「校歌の偉人 信淵を追って」

インターハイの会場は、今までに経験したことのないような緊張感に包まれていました。そのため試合前は少なからず萎縮していたような気がしますが、こんな時こそいつも通りにやることをチームで意識して臨みました。お互いに声を掛け合い、一点ごとに喜び合い、チーム一丸となって最後まで相

インターハイに27年ぶりに出場

バドミントン部 渡部 孝太

手に立ち向かって戦いました。結果は初戦で茨城県代表の常総学院に敗れてしまいました。これまでの活動の総決算として、貴重な経験を積むことができました。後輩たちにはこの経験をこれからに生かしてもらいたいと思います。多くの方々のご声援やご支援に感謝いたします。

僕たち卓球部は、青森市の青い森アリーナで行われたインターハイに出場しました。団体戦の抽選は、開会式前日に会場のメインアリーナで行われ、その結果、第一シードの青森山田高校と一回戦で当たることになってしまいました。しかし、みんなで「一矢を報いてやろう」と話し合い、気合を入れて勝負に臨みました。結果は0-3でしたが、技術でははるかに上の選手た

強豪を相手に一矢を報いた

卓球部主将 加藤 祐也

ちに対して相当に食い下がり、ノータッチエースも何本か決め、まさに決意通り一矢を報いることができました。と思います。また、個人戦でも、団体決勝まで進出した山口県の野田学園のダブルスパアとのフルセットでの惜敗や、東京第一代表

の実践学園の主将とのシングルスでフルセットの大激戦の末の勝利など、僕らのチームは大事な本番で力を振り絞って戦うことができ、本当に満足しました。僕たちは、この貴重な経験を今後の糧にしていきたいと思っています。最後に、応援に来てくださった諸先輩や保護者の方々、そして先生方、これまでのお力添え本当にありがとうございました。

ベスト尽したインターハイ

陸上競技部 二年 長谷川裕貴

陸上競技のインターハイは、岩手県北上市で開催されました。初参加の上、自分より遥かに高く跳ぶ人が多くいて、不安だったのを覚えています。大会中は天候に恵まれ、いつも以上に体が動きました。そのいい流れを試合に生かすことが出来、自己ベストの2m04cmで5位入賞するこ

とが出来ました。大きな舞台でベストを尽くせたことで自信につながる大会となりました。今回、結果を出すことが出来たのは、チームメイトや御指導してくださった先生方の支えがあったからだと思います。これからも周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、頑張りたいと思います。

男子ダブルス 甲谷望・高橋廉 2回戦進出
 男子シングルス 甲谷望 3回戦進出

☆陸上競技部

男子 200M 岩川智基 予選敗退
 400Mリレー 大久保・青木

☆水泳部

女子200M個人メドレー 鹿糠志帆 予選5位
 女子400M個人メドレー 鹿糠志帆 予選4位

☆全日本一輪車競技大会

グループ競技部門 総合優勝 佐藤春佳

走高跳 江口・岩川 準決勝進出
 長谷川裕貴 5位入賞
 棒高跳 小松田一穂 予選敗退
 女子 佐藤楓香 予選敗退
 走高跳 佐藤楓香 予選敗退